

Future Design

～期待に胸を膨らませる春～

Vol.7

FIT-join
メンバー募集中

2023年度活動報告
&
学長・副学長インタビュー特集

「学生」と「教員」を
connectする団体を目指して

Contents

FIT-joinとは?	2	特集2～新入生オリエンテーション・	
代表挨拶・メンバー紹介	3	学生アンケート・join-Talks	14～18
年間活動報告	4～7	福岡工業大学の中で活動する	
特集1～学長・副学長に		団体の紹介	19
インタビューを行いました!～	8～13		

FIT-joinとは？

本学の授業改善を教員・職員・学生の
三位一体で改善する活動



学びのコミュニティ作り

FIT-joinは本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生を“つなぐ”活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担っている団体です。私たちは、**学生の本音を吸収し**、学生が感じていることを教職員に伝え、また教職員が考えていることや課題を**学生の視点から考え**、それを学生に伝える存在として活動しています。



学生FD FIT-join、Instagramはこちらから！ぜひ、フォローお願いします！
今後の活動などを発信していきます！

FIT-join



ユーザーネーム：FIT_JOIN

代表より

2023年度FIT-join代表 近藤 佑亮



FIT-joinとは、本学の学生・教員・職員の3者を繋ぐことで、「学びのコミュニティ」をつくる活動を行っている団体です。本団体では30名ほどのメンバーが、私たち福工大生の学生生活や授業をより充実したものにしたいという思いを持って活動しています。

本団体では、新入生オリエンテーション、学生アンケート、Join-Talksなど様々なイベント・取組を行っています。今後も皆さんの学生生活がより充実したものにできるような活動や皆さんが楽しみながら学べるイベントを企画・開催していく予定です。

FIT-joinの活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

メンバー



- ・代表：近藤 佑亮 (知能機械工学科 3年)
- ・副代表：板屋 ころこ (情報工学科 1年)
- ・副代表：三橋 満咲 (電気工学科 1年)
- ・高城 凜 (電気工学科 3年)
- ・武田 直也 (電気工学科 3年)
- ・西本 光兵 (情報工学科 4年)
- ・王丸 蓮 (情報工学科 1年)
- ・宮崎 桜花 (情報工学科 1年)
- ・鬼木 駈空 (情報工学科 1年)
- ・田代 敦士 (情報工学科 1年)
- ・米森 一真 (情報工学科 1年)
- ・中村 壮一郎 (情報工学科 1年)
- ・正崎 起士 (情報工学科 1年)
- ・陣内 美桜 (社会環境学科 4年)
- ・垂門 誠也 (社会環境学科 3年)
- ・谷口 寛太 (社会環境学科 2年)
- ・田村 俊介 (情報通信工学専攻 2年)
- ・安永 聖司 (電子情報工学科 3年)
- ・濱田 夕晟 (生命環境化学科 2年)
- ・辻田 敬悟 (知能機械工学科 4年)
- ・西川 晃平 (知能機械工学科 4年)
- ・坂本 康汰 (知能機械工学科 4年)
- ・大野 浩輝 (知能機械工学科 4年)
- ・有富 功大 (知能機械工学科 3年)
- ・竹ノ内 健真 (知能機械工学科 2年)
- ・大塚 佳知 (知能機械工学科 1年)
- ・千賀 英 (電気工学科 3年)

※メンバー紹介のリストに入っているメンバーは2024年1月18日時点での情報です。

Years Activities

年間の活動

2023年度は学生と教職員をつなぐ活動や
学生同士のコミュニティを広げる活動を行いました。

新入生オリエンテーション

FIT-joinは、2023年度新入生オリエンテーションの学生企画にて「友達作りの取組」を担当しました。コミュニケーションゲームを通じ、初対面の学生同士の緊張を解きほぐすことを目的としています。今年度は学内の施設を知ってもらうための学内探検も取り入れました。これから、大学生活で行動を共にする仲間とのコミュニティ構築の第一歩と位置付けています。



活動計画発表 & 委嘱状交付

6月19日（月）にFIT-joinが2023年度の活動計画を発表し、委嘱状が交付されました。

2023年度代表の近藤さんから、本学における学生FD（FIT-join）では、本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生をつなぐ活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担う活動を継続しており、2023年度は昨年度の問題点を踏まえ、FIT-joinの活動をより多くの学生に知ってもらうために広報活動にも力を入れること、イベントへの参加者を増やすこと、FIT-join内では活動に参加するメンバーの偏りをなくすことを課題として活動に取り組んでいくことが発表されました。委嘱状交付式では、教育開発推進機構長の前田副学長から、FIT-joinメンバーに委嘱状が手渡され、「授業の受講者である学生の視点から気づくことを教職員に伝え、大学の授業改善につながる活動を続けてください」とFIT-joinメンバーの活躍への期待が伝えられました。



学生団体サミット

6月29日(木)に学生団体サミットを開催しました。今回の学生団体サミットでは、学生自治会、FIT隊、FIT-join、GSLの4団体が参加し、各団体の活動紹介やアイスブレイクなどを通し、お互いの団体についての理解を深めました。ワークショップでは「組織運営を効率よく引き継ぐには?」「メンバー内で良好な人間関係作り」「メンバーによって活動のモチベーションに温度差があって困っている」という3つのテーマから1つ選び、特性要因図を用いたワークショップを行いました。

学生団体サミット後のアンケートでは、「ワークショップで各団体の悩みについて考えを深められたので良かった」、「各団体共通の課題を解決に向けてどう考えるか、どう改善していくかについて考えることができた」などの意見が聞かれ、団体の意義や方向性を再認識できました。



学生アンケート&FD Café

9月20日(水)に「大学で身につける力について考えよう!」をテーマに、第31回FD Caféを開催しました。

今回のFD Caféは、授業の実施者である教員と受講者である学生が本学における「大学で身につける力」に関して理解を深め、今後の本学における学修者本位の教育の推進、全学的な授業改善につなげることを目的に開催し、FIT-joinから前期に行った学生アンケートの結果報告を行いました。アンケート結果を基に教職学で「大学で身につける力」についてディスカッションを行いました。アンケート結果については、16ページをご覧ください。



Years Activities

年間の活動

立花祭

11月2日(木)、11月3日(金・祝)、本学の「立花祭」にて、今年初めてFIT-joinがブースを出店しました。ブースではホットドックとクラムチャウダーを販売しました。学祭当日は、秋とは思えないほど気温が上昇しましたが、多くの方に購入していただきました。購入してくださった学生の皆さん、本学の方々、そして平日にも関わらず足を運んでくださったご来場の皆様、本当にありがとうございました。

2024年度は今年度の課題を踏まえ、より多くの来場とFIT-joinの活動及びイベントへの参加者を増やすことを目標に来年度も出店を前向きに検討します。



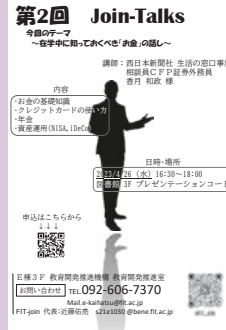
教員インタビュー

FIT-joinではこれまでも多くの先生方にインタビューを行ってきました。このインタビューを通して学生が先生方や授業・研究に興味を持ち、より良い学びの促進、そしてタテのつながりを深めようといった目的があります。今回は今年度から学長・副学長に就任された3名の先生方にインタビューをさせていただきました。普段はお話する機会が少ないため貴重な時間となりました。学長・副学長がどのような仕事をしているのか、趣味のお話や座右の銘などお聞きすることができました。インタビュー記事は8ページをご覧ください。



Join-Talks

Join-Talksとはアメリカで行われているTED (TechnologyEntertainmentDesign) を参考にして、発表者が持つ知識、経験、興味関心があることをテーマにスピーチを行い、参加者が専門の学問だけでなく他分野に視野を広げることの大切さや面白さを知ってもらうことを目的としています。また、学生が発表する場合は、自分の意見や考えを発信する能力の向上を目指す機会となることも目的としています。今回も、第2回目、3回目を図書館3Fプレゼンテーションコートで開催しました。詳細は18ページをご覧ください。今後もみなさんのためになるような企画を開催していく予定なのでぜひ足を運びに来てください！



広報部門

今年度から、FIT-joinの活動を多くの人に知ってもらうことを目的に広報部門を設け、各活動やイベントなどをInstagramで発信したり、FutureDesignの発行に取り組んだりしています。今回のFutureDesignの表紙もメンバーの武田さんがデジタルアートで作成しました！



学生プレゼン企画

今年度から、FIT-joinでは、大学生活でどのような成長を遂げたのか、「大学生活で成長したこと」をテーマにプレゼンを行っています。発表を通して、大学でどのような学びができるのかをメンバー同士で共有することで、学びのコミュニティづくりに取り組んでいます。



村山 理一 学長

研究分野：機械材料・材料力学



1 学長は主にどのような仕事をするのですか？

A 基本的には大学の代表として大学の運営や教育に関する会議に出席し、大学の方針などを決定しています。

学内関係は副学長と分担しているので、もっと時間ができると思っていました。意外にスケジュールがはいつています。これを一人でやってきた下村前学長にすごく感心しています。



2 今年度から新たな役職に就かれたましたが、気持ちの変化はありますか？

A 今まで、第一に授業をこなすことが大前提で、研究も実績が途切れないように継続していこうと考えていました。長い間工学部長をしてきましたが、学長という立場になると意図的に思考を変えるようになりました。私が学長でいる間に大学が傾いてはいけませんので、他大学のホームページなどを見て、大学全体のことを気にするようになったことも大きな気持ちの変化だと思います。



3 今後、福工大をどのようにしていきたいとお考えですか？

A 福岡の中で福工大があつて良かったとみんなに思ってもらえて、福工大を頼りにしようと思ってもらえるそんな大学を作りたいです。そのために丁寧な教育や卒業時の就職支援など、今のベースは変えずにこの大学をグローバル教育の拠点にしたいと考えています。少なくとも「九州地区であればグローバル教育の拠点は福工大だ」と思ってもらえるような施策や取組をしたいと思っています。

もう一つは、大学院の教育を向上させて、工学系の大学でトップを目指したいです。九州内でトップをとるといことは決して難しくはないの

でそのような大学だと言えるようになりたいです。

福工大が福岡にあつて良かったと思ってもらうために、地域と学生が協力しているんなプロジェクトができればと思っています。地域の課題を相談できる場所が大学という存在になり、地域に喜んでもらえる、そのようなことを確立していきたいです。

以上のことも含めて福工大といえば「これ」というような看板を増やしたいです。



4 福工大生にどのような印象をお持ちですか？

A 真面目で素直な学生が多い印象です。この学校を選ぶ学生はそのような素養があるのだと思いますが、真面目で着実に努力している人が多いと思います。

逆に損をしていると思うのは、そのような面を教職員にもっと見せることができたらなと思っています。（学生は）こうなりたいという想いは持っていますが、伝わっていないところがもったいないし、損していると思っています。そういう面を含めて“磨けば光る”と思っています。



5 FIT-joinについてどのような印象をお持ちですか？

A FIT-joinというのは教育に対する評価をしてくれる組織だと思っています。

学生目線から個々の教員の評価、全体の教育の評価、そしてできたら提案まで行ってほしいです。

そこまでの仕組み（評価と提案）をぐるぐる回してもらってそれをいかに大学として取り入れるか、それは大学側の責任ですが、まずは知ることが大事だと思います。知らないと取り入れられないです。

評価したこと、考えたことを教職員に知ってもらう活動をもっとしてほしいと思っています。



6 Q 座右の銘を教えてください。

A 「努力・根気・諦めない」というのが自分の座右の銘というか染みついていることです。失敗してもむしろそれが良かったと思えるようにしています。

大学で本当は物理学者になりたいと思っていましたが、周りを見るとすごい人が多くて挫折をしましたが育ててくれた親に迷惑をかけると思い、企業に就職することを選びました。上司から企業でもできる研究があると薦められ始めた研究が、そのまま現在の大学での研究に繋がりました。

いろんな意味で失敗はたくさんありましたが、そこで諦めずに次に繋げていくと、実は失敗したことが後になって良かったと思えることが多いです。失敗や失望をしても、そこで折れずに頑張ることが大事だと思います。どんなことでも自分のためになるんだなぁと感じています。

7 Q 趣味は何ですか？

A 趣味は走ることです。実は福岡マラソンに応募しましたが今年も外れちゃいました(笑) 年に1回か2回マラソンに出ています。今は週末、天気良ければランニングをしています。



8 Q 行きつけのお店はありますか？

A 基本的には外で飲まず、家に帰ります。一人で飲むことは全くないですね。外で飲む時は会議が終わった後とかですかね。福工大の先生と飲むときは福工大前駅あたりのお店で、10年以上前に知能機械の先生に初めて連れて行かれたのがきっかけです。

9 Q 福工大の学生にメッセージをお願いします。

A 「失望しても諦めず、次を目指して頑張ってください。諦めたら終わりです。」

担当メンバーより

知能機械工学科4年 坂本 康汰

座右の銘として「努力・根気・諦めない」という言葉をいただき、村山学長も大変な努力をされてきたのだらうと感じました。また、福工大をグローバル教育の拠点にしたいと仰っていたので、国際交流に興味をもった学生が増えてくれたら嬉しいです。

知能機械工学科4年 大野 浩輝

学長に就任されての気持ちの変化や福工大をどのような大学にしていきたいという村山学長の目標などをお聞きすることができ、貴重な時間になりました。FIT-joinについてもお話していただき、自分たちも身が引き締まる思いでした。

知能機械工学科3年 有富 巧大

大学の代表として、他の大学に負けないようにという具体的な目標があり、学生ながら感動しました。学長ということで硬いイメージが有りましたがお話を聞くごとにとっても柔らかいお人柄が伝わってきました。

倪 宝栄 副学長

学部・学科：工学部・電子情報工学科

研究分野：電子・電気材料工学

主な担当科目：電子回路I



1 **Q** 副学長業務について（また、副学長の立場で大学をどう変えたいか）教えてください。

A 学長が大学の教育研究の方向性を決めて、リーダーシップを発揮してみんなを引っ張っていく存在ですが、ただ組織が大きくなると学長だけで進めるのは大変なので、副学長は学長の命を受けて、学長の補佐、代行をしています。

福工大は副学長が二人いて業務を分担しています。私は「研究」と「対外連携」を担当しています。対外連携とは外部と接している連携（地域、地方自治体、国際連携）を指しています。大学では授業以外の地を創出する活動や地域貢献活動が行われています。

2 **Q** 副学長に就任後の心境の変化はありますか？

A 今も毎日学生と接しているなので心境の変化としては特にありません。ただ、副学長としての仕事内容や役割が明確化したことで、副学長として大学を引っ張るという客観的な事実に対する責任が大きくなったと認識しています。

学長、副学長制度を設けたことは、大学の文化を大切にしつつ、様々な価値観を持つ人がお互いに幸せになれるような社会である「ダイバーシティ&インクルージョン」を大学の現場でも取り入れていくことが今後必要になってくると感じています。

3 **Q** 福工大の学生にメッセージをお願いします。

A 学生時代に将来を見据えて学業に取り組むということと言うのは簡単だけど、実感していないから難しいかもしれません。しかし自分の経験も含め、将来もっと勉強しておけばよかったと後悔することが来るかもしれません。今は割り切って、学業、アルバイト、人付き合いなど今できること、興味ある事に積極的に取り組んでほしいです。

4 **Q** 学内のグローバル活動についてどのように思われていますか？

A 一言でいうと、学生に外の世界を見てもらいたいです。実際に外の世界に出ていった学生は目を輝かせて帰ってきます。私は、英語研修やGCPやグローバルPBLなどのような、実際に海外に行き、課題を解決するなどのプログラムを担当してきましたが、福工大生の損しているところは、海外に積極的に出ていかないところです。しかし、世の中はすでにグローバル化という、つまり、将来社会人になって海外に出なくても、自分の周りに海外の人が沢山いるという社会になりつつあります。そうすると、やはり海外の人とどのように付き合うのかというスキルが必要になってきます。例えば、日常的なスキルや、あるプロジェクトチームの中で、どのように仕事を推し進めていくのか、どうやって課題を解決していくのかです。こういう具体的な能力が備わっている人と、そうじゃない人では、活躍の度合いが全く違います。これらは経験して訓練を受けないと、身につかないものです。インターネットやYoutubeで勉強しようと思うとかなり限られてきます。ですから、そういう意味で、福工大生が一人でも多く、短期でも、1週間、2週間のプログラムでも良いので、外の世界に飛び込んで、外の人たちと触れ合い、そこで様々なコミュニケーションのスキルを身に付けていくというのが、一番重要な我々のミッションです。もちろん、海外の留学生も積極的に受け入れて、学内に様々な言語が飛び交うようなキャンパスを作っていくのも一つの重要なミッションですが、重要度からいうと、皆さんができるだけ外に目を向けて、できるだけ外に出るような機会を作っていきたいです。そのためにも今、皆さんを海外に派遣するという取り組みを行っています。





5 Q 学内の学生団体（特に FIT-join） についてどう思っていますか？

A 学内にある学生団体に大きな差はあまりないと思います。せっかく入った団体で自分が本当にやりたいことに取り組んで欲しいです。その中で学生が大学の教育に主体的に関わる事を期待しています。FIT-joinとして、もっとたくさんの大学を調べ、将来を見据えた自分の知識を持って教職員と議論をして欲しいです。とても難しいと思いますが、この「時代を俯瞰する力」がいたらすごい学生になると思います。

6 Q 学生時代どんな学生でしたか？

A 学生時代は、勉強だけではなく、いろいろなことに取り組みました。熱中していたこととして、マリンスポーツがあります。週末に毎週のようにマリンスポーツをしていたので、先輩からよく「土日のたびに黒くなってくるね」と言われていました。(笑)

7 Q 福岡の美味しい食べ物を 教えてください。

A 福岡の美味しい食べ物は魚介類ですね。皆さんも県外などに行くと、福岡の魚介がおいしいと改めて感じるができると思います。豚骨ラーメンやもつ鍋も福岡の美味しい食べ物の一つですね。

8 Q 好きな音楽を教えてください。

A 音楽は実はあまり聞かないですが、クラシックには詳しいですね。高校生の時に、ク

ラシックに詳しい先生がいて、その先生にクラシックについて教えてもらっていました。クラシックには、音楽のストーリーと、作曲家のストーリーがあります。その物語性や要素がものすごく好きで、よく聞いていました。

9 Q 好きな言葉、座右の銘を 教えてください。

A 何をするにしても「百聞は一見にしかず」という言葉を大事にしています。私の場合は主に研究を指しますが、自分が興味のある研究や事柄にはまず疑いから入り、自分の目で確かめた結果や知識は自信を持って信じることができます。

担当メンバーより

電気工学科3年 武田 直也

「ダイバーシティ&インクルージョン」という言葉を初めて聞きました。多様性を認め、それを組織で最大限に活かす先進的な考え方がとても素晴らしいと思いました。自分も意識してこれからの学生生活や就職活動に活かしていきたいです。

情報工学科1年 板屋 ころろ

初めて教員インタビューに参加して、普段お話しすることができない副学長とお話しすることができたのは、とても良い経験になりました。今回のインタビューで、考えの幅が広がったので、今後に活かしていきたいです。

知能機械工学科4年 大野 浩輝

侃副学長にお話を伺い、副学長に就かれてからも毎日学生と接する機会があるということが自分の中での驚きでした。侃副学長の「様々な背景や価値観を持つ人を認め合う」という考え方はこれから自分の将来のためにも生かすことができると感じました。

前田 洋副学長

学部・学科：情報工学部・情報通信工学科

研究分野：光通信工学、電磁波工学

主な担当科目：技術者倫理



1 Q 副学長は主にどのような仕事をするのですか？

A 学長の方針に沿って、それを具体化する仕事をしています。そのために様々な会議に出席することが増えました。今は主に教育開発推進機構で福岡工業大学のディプロマ・ポリシーを予測困難な現代に合ったものに作り変えており、学内の先生方の協力を得ながら進めています。他にも、私は教育と学生支援の担当なので学生さんの部活動の応援に行くことが増えました。また、就職に関して企業の方に必要な人材像について聞きとりをしたうえで将来育成すべき学生の資質や能力を学内に伝える役割もしています。

2 Q 今後、福工大をどのようにしていきたいとお考えですか？

A 地域の方（高校生やその保護者、高校の先生）に頼りにされる大学、全国の企業から人材供給の面で頼りにされる大学にしていきたいです。そのためには、入学から卒業までの間に学生に付加価値をつけられる教育のシステムを作りたいと考えています。分かるから面白い、面白いから先をやってみようというサイクルが学生に身につけば成長につながります。全国の高校生から福岡工業大学に通いたいと思って貰える大学にしたいと思います。

3 Q 福工大のいいところを教えてください。

A 外部の方から、福工大の学生がよく挨拶することを褒められます。そこが他の大学にはないいいところだと思います。学生が学外の方に挨拶する大学はあまりないと思うのですが、福岡工業大学には学生や教職員が挨拶をする雰囲気があるのが理由だと思いますし、これからも続いて欲しいと思います。

4 Q FIT-joinに期待することは何ですか？

A 先日参加した工大サミット（私立の工業大学の学長が集まり、取組の共有や連携について協議する会議）で「理工系大学における教育の質保証」というテーマセッションがあり、発表の中でFIT-joinの活動について話したところ、その後のディスカッションで、FIT-joinの活動内容や本学の質保証に関する学生参画の取り組みについて多くの質問を頂きました。今、本学では学生が何を学んで何ができるようになったのかを記録する学習ポートフォリオ（FIT-AIM）の活用について議論を進めているので、まずはFIT-joinの学生が活用し、FIT-AIMを書いておくと必ず自分のためになるという成功パターンをつくり、他の学生に広める役割をして欲しいと思っています。学生目線で教育改善に関与し、大学全体の教育の質保証につなげてほしいと思っています。

5 Q 座右の銘を教えてください。

A 「マナビはアソビ」です。勉強は楽しむこと、楽しいから勉強するというポジティブなサイクルに繋がっていく勉強がいいという意味です。

6 Q リフレッシュ方法は何ですか？

A 本を読むことです。特に自分の専門外の工学分野の本や教育学に関する本を読んで、違う考え方を頭に入れてみることでリフレッシュしています。

学生には講談社の「BLUE BACKS」というシリーズの本をオススメします。工学や理学の難しい分野のことを一般の人にも分かるように書かれている本です。私も大学生時代から、他の分野に興味はあるけど専門書や論文を読むのはきついなと思っていることは、分かりやすくまとめてあるこの本を読んで勉強しています。



7 Q 新入生として入学したら、何をしたいですか？

A 今の専門の勉強以外に、英語に加えて新たな語学の勉強と海外の異文化や考え方を学びたいです。海外の人と環境やエネルギー問題などの国際問題に対してICT技術などを使って、解決方法を一緒に考えたいです。最終的には、専門の知識と語学を活用しグローバルな仕事をしたいです。

8 Q なぜ教員になったのですか？

A 人に教えることが好きで、学生時代は家庭教師や塾のアルバイトをやっていました。就活のタイミングで、企業の研究職と大学教員のどちらになるかを考えた時に、人に教えることが向いていると思ったため、教育と研究ができる教員を選びました。

9 Q 福岡のいいところを教えてください。

A 福岡で生まれ育ち50年以上ですが、町のサイズは大きすぎず、かつ小さすぎず、ちょうど良く、交通の便も良く、東京とは違う住心地の良さがあると思います。また、福岡空港から韓国や中国、東南アジアやアメリカなどに国際便が出ていて、アジアのゲートウェイとして非常にいいポジションにあり海外との往来に便利な位置にあるのがいいと思います。

10 Q 福工大の学生にメッセージをお願いします。

A 大学をもっと活用しましょう。FIT-AIMや図書館、ラーニングコモンズ、自習スペースなどを利用し、友達と一緒に教え合ったり、話し合ったりして課題やレポートをして欲しいと思います。



担当メンバーより

情報通信工学専攻2年 田村 俊介

教員になる前から、人に教える仕事をしていたことや、楽しく学び続ける姿勢に感動しました。私も楽しく学び続けていきたいと思いました。

知能機械工学科4年 西川 晃平

「マナビはアソビ」という楽しむ気持ちを持って今後の生活で色々なことに挑戦したいと思いました。

電気工学科3年 高城 凜

「マナビはアソビ」という言葉が凄く印象に残りました。この言葉で、楽しんで勉強する事が何よりも大事だと気づくことが出来ました。

情報工学科1年 王丸 蓮

初めて教員インタビューに参加しとても貴重な経験を経ることが出来ました。おすすめされた本を読んで、他学科の分野にも触れてみたいと思いました。

特集

新入生オリエンテーション

準備期間

FIT-joinでは、毎年新入生オリエンテーションのプログラムのうち「友達作りの取組」を企画・運営しています。

2023年度も新たに福岡工業大学に入学してくる1年生が、4年間充実した学生生活を送れるよう、試行錯誤しながら企画の考案を行いました。

今年度は新たに新入生が学内を回りながら学生生活のイメージを持ってもらうための「学内探検」という企画を行いました。新たな取り組みということもあり、企画段階では非常に議論が難航しましたが、企画チーム全員で納得のできるものをつくりあげました。



当日

4月3日（月）～5日（水）に2023年度新入生オリエンテーションが実施されました。この期間、先述の「友達作りの取組」や大学での学びについて考える「FIT-inセミナー」などの運営を行いました。

試行錯誤しながら企画した学内探検では、1年生の皆さんに楽しみながら大学の施設について知ってもらうことができました。

アンケート結果

新入生オリエンテーション後に実施した事後アンケートでは、953名の1年生に回答していただくことができました。アンケート結果を以下にまとめています。

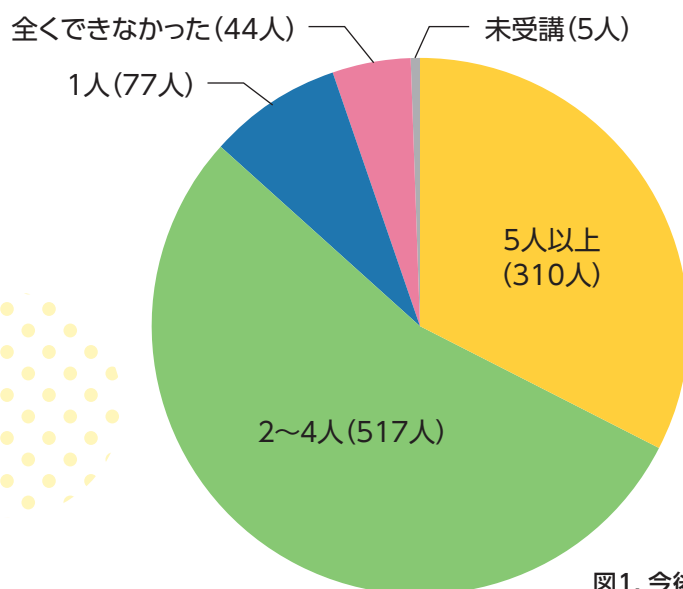


図1. 今後も話せそうな友達の人数

問1. 新入生オリエンテーションに参加することで、今後も話せそうな友達ができましたか？（回答者数：953人）

新入生のコメント

●5人以上でのグループワークを2回したことによって、今後も話せる相手が見つかった。●ゲーム形式でコミュニケーションが取れてよかった。●グループディスカッションが多くあったおかげで友達ができた。

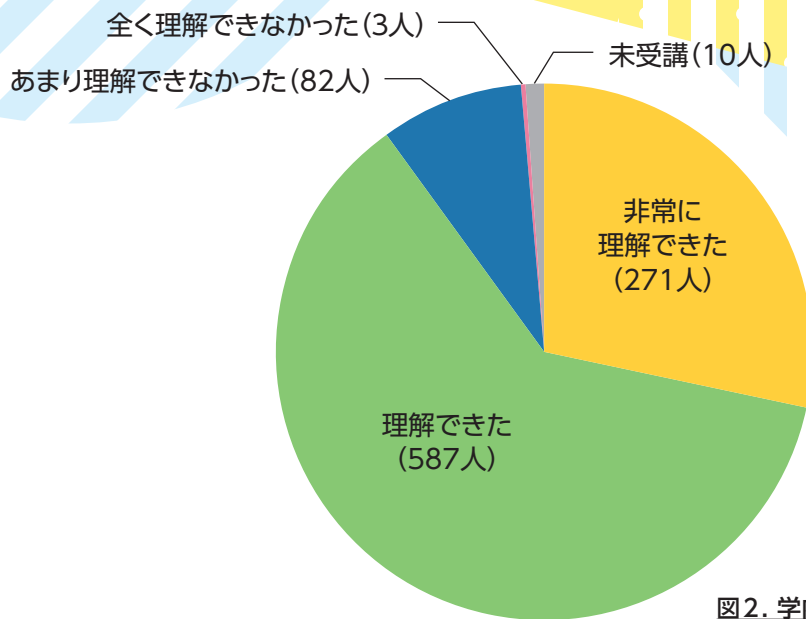


図2. 学内や施設のサポートについての理解度

問2. 学内探検について、学内の施設やサポートについて理解できましたか？（回答者数：953人）

新入生のコメント

●先輩と仲良くなることができ、国際プログラムについての情報を教えてくれてとても助かっている。友達も作ることもできた。●実際にその場所に行くことで、どんな設備があるのかを把握しやすく、説明もわかりやすかった。

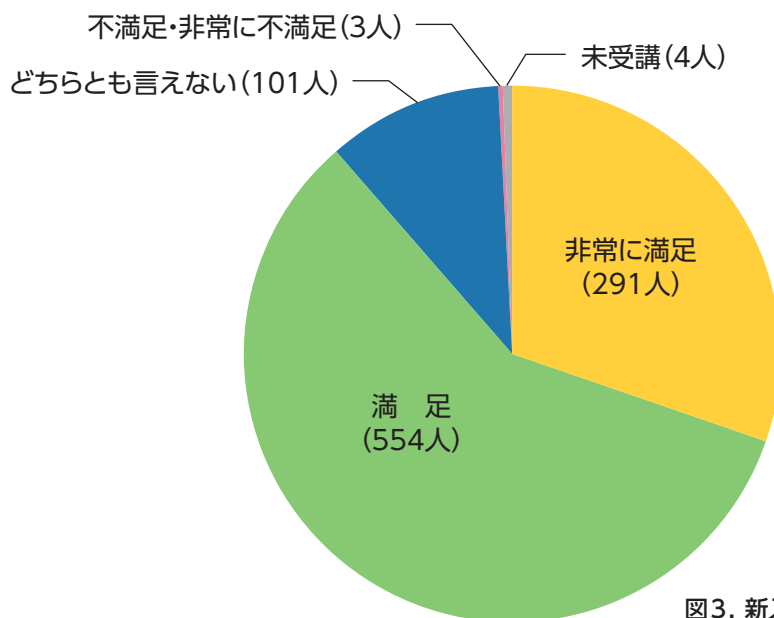


図3. 新入生オリエンテーションの全体の満足度

問3. 新入生オリエンテーションの全体の満足度を教えてください。（回答者数：953人）

新入生のコメント

●大学生活は不安でいっぱいでしたが、これを機に思いっきり楽しみたくなるような内容がたくさんあって素晴らしかった。●オリエンテーションのおかげで友達ができたり、大学のことを詳しく知れたので不安より楽しみが大きくなった！

2023年度版

学生アンケート 結果報告

学生がより良いキャンパスライフを送るために学生の意見を教職員に届けることで教職員と学生の架け橋になることを目的としています。

※回答数：634件（昨年の回答数：533件）

今年度は、FIT-joinから**お願い**と**提案**という形で教職員の方々に報告しました。

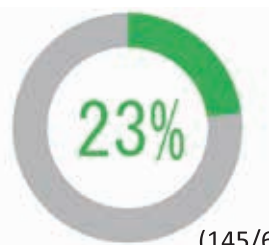
お願い

- ①成績評価基準の明確化・統一化
- ②テストの答案の返却

提案

社会で必要なスキルを身につける授業の実施

Q. 成績評価に不満や疑問を持ったことはありますか？



理由

- ・同教科でも教員によって、評価基準が異なる
- ・英語がAdvancedとFreshmanに分かれているため難易度の高い前者は成績が下がる
- ・成績評価基準が分からない
- ・シラバスに沿った講義内容ではない
- ・テストの返却なし

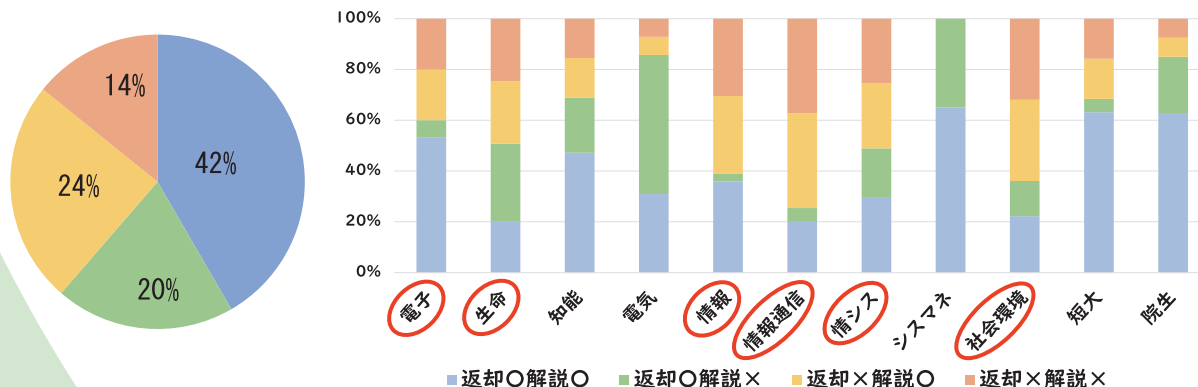
Q. どう対処しましたか？

	人数(人)
担当の教員に相談した	24
担当以外の教員に相談した	9
事務局に相談した(成績確認申請を利用した)	8
特に何もなかった	95
その他	9
合計	145

もっと教務課の「**成績確認申請**」を利用してください！



Q. 中間テストや期末テストは返却や解説がされていますか？



※一部の学科では、テスト未返却未解説の割合が高い傾向があります。

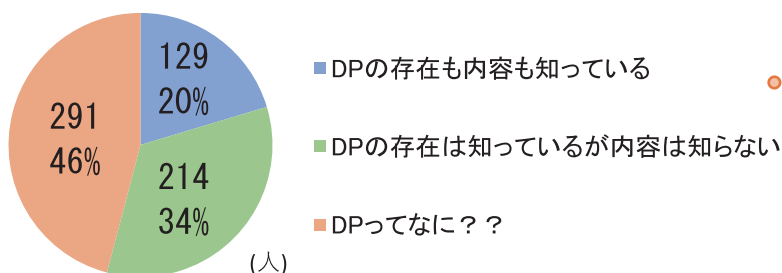
Q. 学生が身に着けたいスキルは？

回答の結果、以下の4つが挙がりました。

- ①リーダーシップ能力
- ②卒業後に就職するための準備
- ③時間を効率的に利用する能力
- ④プレゼンテーション能力

これらのスキルを鍛えるために、**新規の講義**や**既存の講義にプラスα**して、新しい講義形態を追加することを提案しました。

Q. 自身の学科で定められている**DP(ディプロマ・ポリシー)**：学位授与の方針を知っていますか？



自身が所属する学科のディプロマ・ポリシーはしっかり読んでおくこと！

以上のことをFDカフェ(2023年9月実施)で教職員の方々に報告しました

まず、初めにFIT-joinのメンバーから、教職員の方々に2023年度学生アンケートの結果報告とそれらに基づいた考察、提案をプレゼンしました。



その後、「大学で身につけたい力」について教職学(教員+職員+学生)のグループでディスカッションを行いました。

グループワークの後、6グループからディスカッションの内容を発表しました。大学で身につけたい力で挙げたキーワードが

- ・リーダーシップ能力
- ・プレゼンテーション能力
- ・分野の違う人と協力する力
- ・言語力
- ・行動力
- ・主体性

などが挙げられ、それらを育成するための方法をして以下の意見がありました。

- ・学科を超えてモノを作り出す授業などがあれば、コミュニケーション能力や協働する力、プレゼンテーション能力などを網羅できるのではないかと
- ・リーダーシップ能力やプレゼンテーション能力を育成する内容は1年生の時の授業は取り入れられているが2年生以上の授業でもあったらいいのではないかと
- ・まずは学生自身が学びたいと意識を持つこと、さらに教職員のサポートが必要。

今年度もFIT-join学生アンケートの回答に協力していただき誠にありがとうございました。皆さんからいただいた貴重な回答、意見は大学改善のためにとても役に立っています。これからの自身の学び、またこれから入学してくる福工大生のためにも、学生方の意見をお待ちしております。今後ともFIT-join学生アンケートをよろしくお願いいたします。

第2弾 Join-Talks

在学中に知っておくべき「お金」の話



西日本新聞社
生活の窓口事業 相談員
CFP証券外務員
香月 和政 様

2023年4月26日（水）に第2回目Join-Talksを開催した。この講演には31人（学生：22名、教職員：9名）が参加してくれた。今回は、「お金」をテーマとし、主に学生を対象とした金融リテラシーや将来に向けた資産形成、知らないで損するクレジットカードの使い方などを西日本新聞社 生活の窓口事業 相談員の香月様からお話し頂き、学生にとって在学中に必要なお金の基礎知識について考えた。

講演の内容としては、リボ払いと一括払いでは、一括払いでないと大損することだったり、投資するなら積み立てNISAが1番利益は出しやすいが、注意しないと損する可能性があったりと香月様から社会人になる前に必要な知識を教えてくださいました。

参加者の声

- ・下がった時に辞めたくなくなると思うけど、積立の運用の場合は下がった時には買った方が、計算機を使って実際に確認することで、後々得をする事が分かりました。
- ・まだ大学にも入学したばかりで分からないこともありましたが、運用などこれから始めたいと思うことの話が聞けていい経験になりました。

第3弾 Join-Talks

「あなたたちは何を食べなくてはいけないのか」～現代栄養学の視点から～



九州大学 大学院農学研究院
生命機能科学部門 食料化学工学講座
栄養化学分野
佐藤 匡央 教授

2023年10月11日（水）に第3回Join-Talksを開催した。この講演には34名（学生21名、教員3名、職員10名）が参加してくれた。今回は、学生アンケートの結果より、九州大学の佐藤匡央教授から「現代栄養学の視点から私達は何を食べないといけないのか」をお話しいただき、私達の今後の食生活について考えた。

講演の内容の一部を抜粋すると、毎日同じような食べ物は良くないようだ。ヨーロッパ人が、日本食を食べた時に身体が痩せたりするのは、洋食で摂取していたものと日本食で摂取したものとでは、違うものだからバランス良く、5大栄養素がとれるからだ。そのため、毎日ある程度違うもの食べたほうが良いということである。そして、とりあえず食べたほうがいいのが、魚肉ソーセージと半熟卵、温泉卵であった。卵には、人によるが美肌に良い成分が含まれているため、肌荒れしてる人はきれいになるかも知れないという事だった。肌荒れして困っている方は、ぜひ卵を毎日食べてみてね。佐藤教授からは、わかりやすく自分たちに必要な食生活のことを教えていただいた。

参加者の声

- ・食に対する考え方が変わった良い機会になりました。
- ・どんな食事がいいのか栄養素の具体的な内容を踏まえたおかげで理解しやすく面白かったです。

他団体の紹介

GSL

GSL学生メンバーは、Global Student Lounge (GSL) を拠点に、アメリカ人職員のもとで活動する国際連携室直轄の学生団体です。私達は、福工大生と留学生との交流を通して、異文化理解を深めることを目指して活動しています。

主な活動内容は、GSLは国際連携室横のラウンジで国際交流と英会話をしています。また、国際交流のイベントも運営しています。英語力を伸ばしたい方はぜひGSLと共に活動してみませんか!?



FIT隊

私たちは福岡工業大学の学生広報組織FIT隊です。

現在、1年生から4年生までの約60名で活動しています。オープンキャンパスの企画運営やInstagramを使って、福岡工業大学の魅力を伝えています。また、大学の広報物や様々な広報媒体への取材協力や大学イベントのスタッフなども行っています。

私たちのメイン活動であるオープンキャンパスでは、入試広報課と連携をして高校生や保護者の方々をお迎えし、受付や誘導、施設の紹介などを行いました。今年度はさらに新たな企画も行うと計画をしています。これからもFIT隊は福工大生の魅力や活動を多くの方に知ってもらうために情報を発信していきますのでよろしくお願ひします!



学生自治会

私たち学生自治会は、学生自治会実行局、代議員会、学術文化会、体育会本部の4つにわかれ、福工大生が楽しい大学生活を送れるようにするために日々活動しています。主な活動内容としては、立花祭という学園祭の運営や、文化系サークルの活動発表の場である学文祭などが挙げられます。名前だけ聞くと堅苦しい団体だと思われるかもしれませんが、実際は球技大や交流会など楽しいイベントがたくさんあります。興味があれば気軽にサークル棟1階自治会室まで来てください!





FIT Fukuoka Institute of Technology **福岡工業大学**

発行元：福岡工業大学 教育開発推進機構

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 E棟3階

TEL：092-606-7370 FAX：092-606-7379

Mail：e-kaihatsu@fit.ac.jp Web：http://www.fit.ac.jp/

発行日：2024年3月11日

編集・作成：FIT-join(学生FD)・教育開発推進室・FutureDesign制作チーム